



自衛隊栃木地方協力本部

中部航空音楽隊長 五味淵3佐・母校訪問で演奏指導 ～楽器を通じて心をつなぐ～



左奥：高村先生 右奥：校長先生
右手前：吹奏楽部顧問



楽器演奏指導（パートごとの練習）



左：五味淵3佐 右：高村先生



合同演奏指導の様子



航空自衛隊中部航空音楽隊の皆さんにご指導いただけたというお話を聞いた際は、自衛隊という響きに恐懼したのですが、いざ練習が始まると、皆さん優しくとても親しみやすく、楽しく練習することが出来ました。パートごとの練習の際には、サクソスの根幹となる部分から上級の技術まで、合奏ではピッチの合わせ方や曲のメリハリに関してなど様々なことをご教授いただきました。この経験をコンクールをはじめ、今後の音楽人生に生かしていきたいです。

3年5組 深沢 奏羽

この度はご多忙中の中、このような機会を頂き誠にありがとうございました。皆様のご指導のおかげで、部員一人ひとりが楽器への理解を深めることができました。パート練習では、なかなか掴めず苦戦していた奏法への的確なアドバイスを頂き、有効な練習方法をご教授いただきました。合奏では皆様との演奏を通して音楽の楽しさを改めて感じることができました。今回学んだことをこれからの活動に生かしながら日々の練習に励んでいきます。航空自衛隊中部航空音楽隊の皆様にご指導いただきましたこと、心より感謝いたします。

3年2組 星 陽向

また、翌日の「グリーンフェスタ」には、指導をうけた生徒が音楽隊の演奏を鑑賞し、感謝を述べるとともに、ステージでの演奏に感動を覚えていた。
大田原地域事務所は、「今後も、リクルータや演奏指導を通じて、学校との連携と信頼関係を強化し「地域密着型」の広報で邁進していく」としている。
後日、お礼の感想文が届いたので紹介をする。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、5月25日（土）、栃木県立さくら清修高等学校（校長 熊田孝幸氏）において、航空自衛隊中部航空音楽隊（隊長 五味淵 敦3空佐）の母校訪問及び演奏指導を支援した。
今回は、栃木地本主催で行われた広報イベント「自衛隊グリーンフェスタ2024」に中部航空音楽隊が出演するため来県したのをきっかけに、音楽隊長の出身校であるさくら清修高校の当時の恩師（前教頭 高村氏）の協力で、生徒への演奏指導が実現したものだ。
当日は、吹奏学部生徒20名が参加し、課題曲の「星条旗よ 永遠なれ」を前段は、各パートに分かれ練習、後段は隊長指揮のもと全員で演奏した。隊長の指導にも熱がこもり、顧問の星野先生は、「生徒たちの演奏に大きな成長が見られた」と音楽隊の指導の素晴らしさに感銘を受けていた。生徒たちには、音楽隊員の優しい指導で自衛隊の魅力を実感したと熱く語ることができた。



学生時代使用していた楽器を
懐かしむ五味淵3佐



集合写真



翌日の「自衛隊グリーンフェスタ2024」の
演奏を聞きに来た学生達と記念撮影